

千葉県こてはし台

公民館だより

つどい まなび つなぐ

発行 千葉県こてはし台公民館

〒262-0005 花見川区こてはし台 5-9-7

TEL043-250-7977 fax043-250-1992

令和7年6月号

リニューアルオープンから3年目を迎えました！

紫陽花が美しい季節となりました。昨年度に続き、館長を務めます宮下です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、リニューアルオープンから3年目を迎えます。お陰様で大きなトラブルもなく、本年度も順調にスタートできました。ご利用される皆さんからは、「施設が新しく気持ち良い」「トイレや部屋がとてもきれい」との感想を多くいただいています。日頃よりきれいにご利用いただいていることに感謝申し上げます。運営面でも複合施設の利点を生かし、主催事業時に花見川図書館の協力により図書館に特設コーナーを開設していただいたり、関係蔵書リストを提供していただいたり

りとサービスの向上に努めています。昨年度に続き、当館のスローガンは、「元気いっぱい、笑顔いっぱい、仲間いっぱい」です。利用される皆さんの笑い声が飛び交う公民館を目指していきます。多くの方々のご来館をお待ちしています。ご意見ご感想がございましたらお寄せください。



屋上に設置された太陽光発電設備

令和7年度運営方針及び事業計画の重点について

1 運営方針について

- (1) 複合施設の利点を生かし、地域から愛される公民館運営を目指します。
- (2) 地域、利用者の皆さんのニーズを把握し、多様なニーズに応えるために関係機関、専門機関との連携を図り、主催事業の企画・運営にあたります。
- (3) 館内外の美化、落ち着いた学習環境づくりに努め、利用者の皆さんが安全安心に利用できる環境をつくりまします。

2 事業企画・運営について

(1) 令和6年度の課題を踏まえて

- ① 運営審議会、運営懇談会、クラブ連協等から出された意見を公民館運営に生かすとともに、工夫、改善点が利用者に伝わるよう、各講座、こてはし台公民館定期利用団体連絡協議会総会、文化祭、ホームページ、公民館だより等で積極的に情報発信をしていきます。
- ② 令和6年度の講座参加者のアンケートから声を拾い、よりニーズに応えられるよう内容を工夫改善します。
- ③ 大変好評だった「終活関連講座」「スマホ体験講座」「介護保険制度《市政出前講座》」「芸術鑑賞」等は、引き続き事業計画に取り入れます。
- ④ 学校や地域団体、関係機関との連携を図り、幅広い世代への広報と講座の充実を図ります。
- ⑤ 複合施設の利点を生かし、新規公民館利用者増を目指します。特に花見川図書館との連携に力を入れます。

(2) 計画の重点について

- ① 外出がままならない受講者を想定し、より多くの希望者が受講できるように「歴史講座『千葉を知る』」「ふれあい落語『こて台亭』」等のオンライン開催を計画します。また、高齢者対象の終活関連講座等については、難聴者に支援できるようヒアリンググループを設置します。
- ② 地域リーダーの発掘、育成を目指し、講座講師に地域人材を積極的に登用します。(子どもチャレンジ『将棋を楽しむ隊』、昼下がりの音楽会～CDコンサート～等)
- ③ オンライン事業を積極的に実施し、幅広く学習の機会を提供します。
- ④ 地域のニーズに応え、芸術文化に触れる機会を提供します。
- ⑤ 社会教育施設である公民館をより幅広い年代の方に利用していただくために、新規講座を計画します。

令和7年度実施した主催事業の紹介

①地域のチカラ向上計画「普通救命講習会～救急車到着までの対応を学ぶ～」(4/10 実施)

防災普及公社と連携し、当館で継続している講座の一つです。受講者は大変意欲的で、実技も積極的に声を出し熱心に取り組んでいました。「ペースメーカーを付けている人への対応はどうか、救命処置中に意識が戻ったら救急車への連絡はどうか、アクセサリを付けている場合はどうか」等、質問が多数あり学習が深まりました。参加者からは、「実際に胸骨圧迫やAEDの練習ができたので、もしもの場合は役に立てたい。印刷物にはない話も詳しく聞いて興味深かった」「とても分かりやすい説明と丁寧な実技指導をしていただきよくわかりました」と、大変好評でした。



②ふれあい音楽会「津軽三味線演奏会」(5/24 実施)

計画では40人の定員としていましたが、希望者が多く、安全対策をしっかりととり、最終的には58人を受け入れました。その内20人は初来館だったので、公民館を知っていただくよい機会となりました。また今回も花見川図書館と連携してCDリストを配布しました。身近な公民館で津軽三味線を楽しんでいただける演奏会は、今回で5年目となります。演奏会は、歌詞集を配布して三味線演奏と共に歌いながら楽しむスタイルで進行します。プログラムは、誰もが知っている楽曲を多く取り入れた構成になっていました。「早弾きの手さばきを見るだけで津軽三味線の素晴らしさを感じとても感動しました」「迫力の中に郷愁を感じました。良かったです」等、生演奏の迫力に感動したアンケートが多くありました。地域の皆さんが集って楽しみ、交流を深める場として、今後も続けていきたい事業の一つです。



③終活初心者講座 知っておきたい老後のお金「介護費用と保険知識」(5/29 実施)

終活関連講座の講師をお願いしている「いき活倶楽部」の皆さんとは、毎回、短い時間ではありますが、公民館職員と反省会を設け、反省点が次の講座につながるよう工夫をしています。本年度は、終活関連講座として4連続の講座を企画しました。どれも内容が精選されており、わかりやすかったと好評をいただきました。本講座の目標は、介護費用の目安、公的保険・私的保険の関係性を学ぶことでしたが、講師の実体験からのお話は、貴重な学びになったと思います。また、ヒアリンググループを設置したことで、難聴者にも終活情報を届けることができました。



公民館職員紹介

館長 宮下…地域課題解決に向けた講座の開催、サークル活動の支援等、地域の皆さんが豊かな人生を送れるようサポートしてまいります。気軽に公民館に遊びに来てください。よろしく願いいたします。

職員 佐藤…皆様が楽しく集える公民館をめざして運営・講座を実施してまいります。よろしく願いいたします。

職員 鈴木(あ)…今年度も引き続き皆様が快適に活動できるよう努めて参ります。よろしく願いいたします。

職員 鈴木(よ)…生涯学習の場である公民館で、利用者の皆さんが充実した活動ができますようサポートしてまいります。

※別紙「こてはし台公民館だより 主催事業案内編」も参照してください。(受付窓口配架)